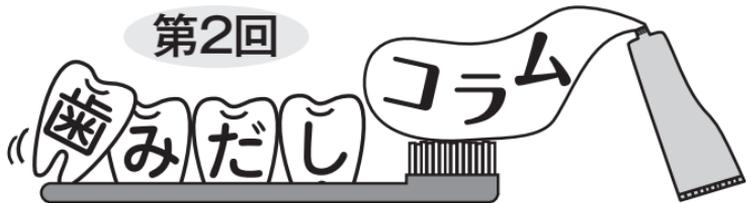


第2回



埼玉県羽生市の木村歯科医院院長の木村です。

今回は話めたり被せたりした歯の平均寿命は世界的に平均7年、1本の歯を5回程治療すると寿命になる(歯を抜く)と言う話をしました。

一般的に最初の永久歯が6歳前後に生えてきますが、仮に永久歯の6歳臼歯を生えてすぐ(小学1年)虫歯にしてしまい削って話めたとします。平均で考えますと7年後の13歳(中学校1年)でまた虫歯になり部分的な金属に型を取って話め直します。さらに7年後の20歳の時いそがしくて最初は我慢していた痛みを放って置いて痛みを耐えかねて歯科医院に行き、

今度は神経を取る事になります。神経を取った歯はもろくなる為、全体を被せる治療となります。

次いで平均7年後27歳で被せた歯が根の先の病気になるも一度根の治療をして被せ治します。

さらに7年後34歳で歯の根っこがもろくなった為ひびが入り、ついに歯を抜く事になります。また20歳を過ぎた頃から歯周病の危険度も増してくる為虫歯でなくても抜かなければならない歯が出てくる可能性もあります。あくまでも平均と歯に対して不具合が起こった時以外何の手だてもしなかった場合の予想です。

リッジという物に代え、中には元の歯の様に噛めるから良いという方もいます。しかし前後の歯を削ってしまったその7年後…と考えると年を追うごとに歯を失っていくのが目に見えています。いかがでしょうか？

歯がある方は歯を失わないように、歯が無い方はこれ以上失わないように、またしっかり噛めるようにを目指し、今後皆様のお手伝いができればと思っております。

(そんな歯の話を集約して「無料」健康講座も行っております)。

医療法人正匡会木村歯科医院 住所/羽生市中

央2-7-10 ☎048

(561)0808